

地名をよるし

三十六 平川



今回取り上げる地名は備中町「平川」です。「平川」は、成羽川が開析した急斜面の谷（V字谷）となった峡谷（成羽川）の

右岸にあつて、吉備高原上に位置して、起伏の緩やかな野呂地形となつています。中でも、龍王山（五六三メートル）や日野山（六六九メートル）のように穏やかな形をした高い山は準平原上に孤立して存在するトロイデ型の火山で、玄武岩の残丘（モナドノック）なのです。

波浪上の高原には、「ソネ」（高い嶺のところ）とか「ソラ」・「ウネ」・「サコ」・「クボ」など地形の特徴を表す地名が多く見られ、山の部分は赤土、くぼは黒土が多く、斜面のほとんどは畑作地帯で、水田はくぼや低地に階段状に分布しています。地質も複雑で、中でも石灰岩の場所は地表が地下の空

洞へ陥没するという初期の陥没ドリーネがあつて話題になつています。

「平川」の歴史は古く中世には、「和名抄」にある下道郡のうち、北部五郷が独立して川上郡（河上）となり（「拾介抄」）、その後、六門郷を加えて六郷となつたといわれ「平川」はその六門郷の中心、すなわち「本郷」だつた（川上郡誌・「備中町史」といわれています。平川村の庄屋だつた「平川家 由緒書」（備中町史）に

「備中七十二郷、川上郡六郷之内、六門の郷本郷たり。近世平川氏たるもの領主故 旧号ヲ改平川村ト称ス」と書かれ「平川掃部介高親が近江源氏の出身で、建武三年（延元元年＝一三三六）に近江国野洲郡平川から備中国川上郡六門郷の領家職（荘園領主の呼称の一つ）

となつて移住、本郷に自分の氏名をつけ平川村と称し、紫城を築いて領主となつた鋤崎八幡宮は近江の国平川氏の氏神だつた」と書いています。

近世の「平川村」は慶長五年（一六〇〇）毛利の支配から幕府領、元和三年（一六一七）松山藩領、同四年成羽藩領となり寛永一六年（一六三九）には再び松山藩領となつた後、寛永一十九年（一六四二）には幕府直轄領となりました。文化九年（一八一二）から天保九年（一八三八）には津山藩領になりましたが、再び幕府直轄領となつて明治を迎えています。

正保二・三年（一六四五・四六）の「正保郷帳」では石高一三七八石となつていて川上郡内では一番石高の多い村でした。「天保郷帳」（天保五年＝一八三四）では二二五六石余で、村を西大組・西元組・中組・元組・東組・長谷組の六組に分けて村高を決めていて（備中村鑑）、それぞれ庄屋、年寄などの村役人を置いていました。平川村は水利に恵まれない

畑作の多い村でしたが、大豆・粟・米などのほかに商品作物の栽培も盛んとなり、茶・楮・漆などの特産物の生産や、紙すきも盛んで当時は貴重な年貢として納めています。成羽川沿いの井川や川戸には、七艘の高瀬があつて（備中町史）、年貢米や野呂の特産物を輸送する高瀬舟の川湊がありまし

た。神社に平川氏が近江から勧請したといわれる鋤崎八幡宮があり、今の本殿は享保一七（一七三二）に塩飽諸島の船大工によつて建築されたもの、境内に平川金兵親忠など名が書かれた享保三年（一七二八）の石灯ろうなどが残つています。秋祭りは若連中の「渡り拍子」によつて盛り上がり、また、古い宮座の行事も残つています。

新成羽川ダムの湖底には、日本における最古の河川水運の開発工事完成記念碑が残つていて「笠神の文字岩」といわれ、国指定の史跡になつていて岩の銘文に徳治二年（一三〇七）に高瀬舟を通す難工事を

完成したことが書かれています。このほか、「平川」にはこの村の歴史を語る多くの文化財や民俗資料が残されています。

「平川」という地名は建武三年、近江国から平川高親が領家職となつて、この地域を治めて以来、村名となり地名となつたもので、人物名が地名と一致する代表的な例なのです。和気町などと同じ人物地名の一つなのです。

（文・松前俊洋さん）



南から平川郷方面を望む

高梁中央図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 2912



一般書
木洩れ日に泳ぐ魚

恩田陸:著
中央論社

あの旅から、すべてが変わってしまった。一組の男女が迎えた最後の夜、明らかにされなければならない、ある男の死の秘密。運命と記憶、愛と葛藤が絡み合う。

ちいさいこへのや 図書館2階 14:30から

小学校低学年までが対象で参加無料。親子での参加も歓迎です。

10日土	ビデオ「おやゆびひめ」 おはなし会 (ボランティアグループ「おはなしたまてばこ」)
17日土	きりがみあそび「さかさまボックス」
24日土	おりがみあそび「モノクロパー」

児童書
イラスト図解 十五少年漂流記

J.ベルヌ:原作、PHP研究所:編
PHP研究所

不朽の名作「十五少年漂流記」のあらすじを中心に、15人の名前から親の職業、船の構造、漂着した島の地形、環境、気候、無人島で生き抜くための生活技術までイラストで解説する。時代背景やベルヌの主な作品も紹介。

移動図書館

15日木	川上児童館前 備中地域局前	14:15~15:15 15:45~16:45
16日金	有漢生涯学習センター前 落合雇用促進住宅高梁宿舎前	14:45~15:30 16:20~16:50
20日火	玉川地域市民センター前 落合地域市民センター前 中国電力社宅前 松原地域市民センター前	11:00~11:30 13:00~14:00 14:30~15:00 15:30~16:00
27日火	津川地域市民センター前 高倉地域市民センター前 川面地域市民センター前	11:00~11:30 13:00~13:30 14:00~14:30
30日金	巨瀬地域市民センター前 中井地域市民センター前 宇治地域市民センター前 落合中二公会堂前	10:30~11:00 13:00~13:30 14:30~15:00 16:00~16:30



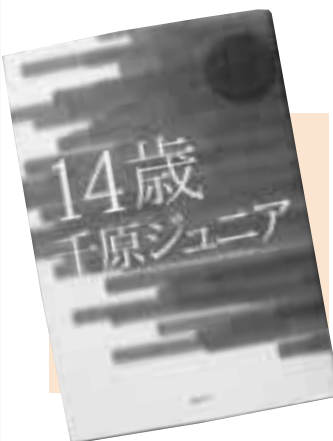
休館日

毎週木曜日の午後
3日(土)、5日(日)、12日(月)、18日(日)、23日(金)、26日(月)

成羽図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 2589



一般書
14歳

千原ジュニア:著
講談社

平成10年から11年にかけて雑誌に連載され、ファンの中で長らく単行本化が待ち望まれていた自伝的小説。

14歳で家に引きこもってしまった少年の、繊細だが、荒々しい息づかいが迫ってくる。

移動図書館「うぐいす号」

11月13日(火) 11月27日(火)

午前 9:00~12:00	市営星原住宅→ファミリーハイ ツ星原→鶴鳴保育園→市営栄 町住宅→妙見町堀江宅横→雇 用促進住宅→黒川商店(日名 地区)→枝中央地区→成美保 育園
午後 13:00~16:00	老人ホーム成羽川荘→成羽・ 山本地区→小泉・東地区→布 寄小学校→中野・迫地区→吹 屋保育園→吹屋小学校→向井 商店(坂本地区)→田原保育園

休館日 毎週月曜日